

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
デザイン実習 2 C											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	岸本 江梨			実務経験	有	職種	空間デザイナー・スタリスト				
担当教員紹介											
内装デザインと共に雑誌撮影やウェディング会場、施設イベントでの装飾デザイン・スタイリングの実務経験を持つ。											
授業概要											
この授業では、課題条件がある中で空間スタイリング提案を行うが、実務を想定したワークフローで進めていく。課題を通して、空間デザイン+スタイリングに必要な知識と提案力の習得が目的である											
到達目標											
課題条件をもとに、テーマを設定しコンセプトを立てられる。他者にイメージがしやすい提案資料作成と伝わるプレゼンができる。予算を抑えた改装必要箇所の判断、装飾品の選定とコーディネート構成ができる。スタイリングの仕事に関わるための知識全般を身につけられる。											
授業方法											
配布の資料・テキストを使用し分野解説を行う。また、スタイリングの基礎法則などを実際の物を使って解説しながらさらに説明を行う。その後、実務内容に近い課題条件での課題制作を実施し、プレゼンテーションに向けてプレゼンボードを完成させていく。											
成績評価方法											
プレゼン	40%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
課題完程度	10%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
企画力	30%	アイディアの企画力・発想力を評価									
平常点	20%	積極的な取り組み態度									
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
・過去の実務で購入したスタイリング小物を一部使用してスタイリング解説時にみせながら解説を行う ・毎回授業にて資料配布を行う ・参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	課題条件の説明、スタイリングディスプレイに関係する実際職種・就職先例説明										
第2回	実務現場作業フローと提案流れ説明/課題仮説設定・獲得したい顧客設定やマーケティング分析方法										
第3回	ディスプレイ・スタイリング/基本構想・小物を使用してのスタイリング基礎法則の実践解説説明										
第4回	ディスプレイ・スタイリング/基本構想(web・誌面・撮影想定ワイヤーフレーム制作)										
第5回	ディスプレイ・スタイリング/マーケティング分析に基づいた企画資料作成_環境調査										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
デザイン実習 2 C	
第6回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(平面レイアウト図)
第7回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(レイアウト図作成・スケッチパース図)
第8回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(スケッチパース図・撮影指示書作成)
第9回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(マテリアル選定、サンプル請求準備、模型制作)
第10回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(マテリアルボード制作、模型制作、プレゼンボード制作)
第11回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(使用予定既製品材料商品リスト制作・コスト確認)
第12回	中間発表
第13回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(中間発表時の指摘事項修正・ブラッシュアップ)
第14回	ディスプレイ・スタイリング/ディスプレイデザイン資料制作作業(中間発表時の指摘事項修正・ブラッシュアップ)
第15回	最終プレゼンテーション